◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

いわて マナビィ マガジン

No.246 （令和４年度第８号） 2022.8.5

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

＜＜＜ 本号の内容 ＞＞＞
◎子どもが笑顔、地域が笑顔になる仕掛け人！
〜社会教育主事講習開催中〜
◎「いわて」のマナビィ ミニ講座⑦
「世界一の太鼓大パレード」（盛岡市）

子どもが笑顔、地域が笑顔になる仕掛け人！
〜社会教育主事講習開催中〜

現在、秋田県で社会教育主事講習が開催中です。本県からも、小・中・高等学校教員、市町村の教育委員会や生涯学習部局・地域づくり部局・NPOの職員等 16 名の方々が、４週間余りの長丁場の講習を熱心に受講しています。

夏の社会教育主事講習は、北東北３県（岩手県・青森県・秋田県）の大学等が中心となり、おおむね２年交代の輪番制で毎年開催されています。

当センターも、岩手県としての事前研修会や、講習前半（７月 25 日〜８月５日）のサテライト（オンライン）会場として、対応しています。

８日からは、秋田県の会場に参集して、演習や発表などのプログラムも含めて 19 日まで講習が行われます。

……

「社会教育主事」とは？

学校で勤務する先生方は、「指導主事なら分かるけど、社教主事はよく分からないなあ」という方も多いことと思います。社会教育主事は、社会教育法に基づき都道府県・市町村の教育委員会に置くこととされている専門的職員であり、地域の社会教育事業の企画・実施及び専門的な助言と指導を通し、地域住民の学習活動の支援を行っています。

県教育委員会でも、市町村・県立の学校教員の中から、毎年数名を社会教育主事として発令しており、発令された教員は生涯学習文化財課・生涯学習推進センター・各教育事務所・各青少年の家・野外活動センター等で勤務しています。

【社会教育法】（昭和二十四年法律第二百七号）
第九条の二
都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に、社会教育主事を置く。
第九条の三

社会教育主事は、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える。ただし、命令及び監督をしてはならない。

※ただし、人口一万未満の町村にあっては、当分の間、社会教育主事を置かないことができるとされています。

（期待される役割）
- 人と人、組織と組織をつなぐコーディネート能力
- 人々の納得を引き出すプレゼンテーション能力
- 人々の力を引き出し、主体的な参画を促すファシリテーション能力

（本県の社会教育主事が担っている主な役割〉
- 県内生涯学習・社会教育の振興
- 地域学校協働活動・教育振興運動の推進
- 青少年教育施設での団体指導・事業企画
- 地域社会での大人の学びの推進
- 家庭教育を支える仕組みづくりや人材の育成
- 図書館や地域での取組を含む読書活動の推進
- 美術館や博物館等での教育普及

社会教育主事講習を修了した場合、社会教育主事となることに限らず、「社会教育士」の資格を得て、仕事や活動に活かすことができます！

…………………………………………………………………………………………

「社会教育士」とは？

「社会教育士」は令和２年度から始まった国の資格制度です。
「社会教育主事」は、都道府県・市町村教育委員会から「社会教育主事」として発令されなければ、その職務に就くことができません。そのため、これまでもNPOや社会教育関係団体、企業、学校教職員、PTAなどの方々が社会教育主事講習や大学等の養成課程を受講し、さまざまな場で活躍していましたが、「社会教育主事」とは名乗ることができませんでした。
そこで、講習や養成課程における学習成果が、教育委員会のみならず他の行政部局や企業、NPO、学校等、広く社会において活かされるよう、定められた科目を修了した人は「社会教育士」と称することができるようになっています。

コーディネート能力、ファシリテーション能力、プレゼンテーション能力等を活かし、福祉や防災、観光、まちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに中核的な役割を果たすことが期待されています！

文部科学省のサイト「社会教育士」
↓↓↓↓↓
https://www.mext.go.jp/a_menu/01_l/08052911/mext_00667.html

……………………………………………………………………………………………………

その他、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが実施する講習（社会教育主事講習Ｂ）もあり、令和５年１月～２月に本県（当センター会場）で開催することとなっています。
さあ、皆様も、「子どもが笑顔、地域が笑顔になる仕掛け人」になってみませんか！！

☆彡————————————————————————————————☆彡

「いわて」のマナビィ　ミニ講座⑦（盛岡市）

☆彡————————————————————————————————☆彡

今回のミニ講座は、「世界一の太鼓大パレード」です！

平成26年「和太鼓の同時演奏記録」世界一を目指すイベントが盛岡市の県営運動公園陸上競技場にて行われ、3,437人が参加し、現在も世界一に認定されています。（ギネス世界記録）
８月４日、「盛岡さんさ踊り」では、この世界記録の演奏の再現として、さんさ太鼓だけの大パレードが行われています！

……………………………………………………………………………………………………

【盛岡さんさ踊り】

岩手県の盆踊りの主なものは、県北や沿岸地域で踊られている「なにゃとやら」と、盛岡を中心に踊られている「さんさ踊り」です。
「さんさ踊り」の発祥として多く語られているのは、盛岡市名須川町の三ツ石神社にまつわる「三ツ石伝説」に由来するものです。
昔、人々を苦しめていた鬼が三ツ石の神様によって退治され、降参の印に誓約の手形を石に残して去ったとき、喜んだ人々が三ツ石のまわりで「さんさ、さんさと踊り囃した」のが「さんさ踊り」の始まりと伝えられています。ほかにも,武士の戦勝祈願の踊りから始まった、お坊さんによってもたらされたなどの由来を持つ踊りの団体があります。

８月始めに行われる「盛岡さんさ踊り」は、世界一の太鼓数と言われる大パレードをメインに、夏まつりとして人気を博していますが、その母体となっているのは、「伝統さんさ」と分類されている、各地域で生きて来た個性豊かな「さんさ踊り」であり、歴史と個性を持った踊りが現在も大切に伝承されています。

(盛岡市ホームページより)
↓↓↓
https://www.city.morioka.iwate.jp/kankou/kankou/1037106/rekishi/1022409/1022410/index.html

盛岡さんさ踊り実行委員会
↓↓↓
http://www.sansaodori.jp/

★――――――――――――――――――――――――――――――――――★

当面の研修会等実施予定

★――――――――――――――――――――――――――――――――――★

８月　９日（火）　学校と地域の連携・協働研修会
　　１９日（金）　人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（盛岡）
　　３０日（火）～３１日（水）
　　　　　　　　　放課後児童支援員研(沿岸前期)
９月　２日（金）　放課後子ども総合プラン指導者合同研修会②
　　１２日（月）～１３日（火）
　　　　　　　　　放課後児童支援員研(盛岡前期)
　　１３日（火）　センター・公民館・主管課職員等セミナー
　　１６日（金）　地域安全防災研修会
　　２７日（火）～２８日（水）
　　　　　　　　　放課後児童支援員研（県北後期）
　　３０日（金）　子育て・家庭教育相談研Ⅰ

※当所センター主催の開催要項・実施報告書は、当センターのＨＰ「まなびネットいわて」でご覧ください。(中段の「新着情報」または上段の「事業計画・研修講座要項」内に掲載中）
↓↓↓↓↓
https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/index.html

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||

▸ご意見・ご感想、登録・登録解除等は下記アドレスまで
⇒　E-mail；mag-manabee@pref.iwate.jp

▸生涯学習・社会教育関連情報は当センターＨＰから
⇒　https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/index.html

▸ 当センターの情報を SNS にて配信中
【Facebook】https://www.facebook.com/manabinetiwate/
【 Twitter 】https://twitter.com/manabinetiwate Facebook・Twitter

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||iwatemanabeemagazine||||||
発　行：岩手県立生涯学習推進センター　（花巻市北湯口 2-82-13）
編　集：菊池　一洋